

ポイント1 社会資源情報の一元化を図り、情報提供

山口県介護支援専門員協会ホームページ を 見てみよう！

<http://www.y-cma.jp/> ←これがアドレスです。こんな画面が出てきます。

お役立ちコーナー
をクリック

県内各市町のローカル
情報が掲載されて
いるホームページにつ
ながります。



おねがい 会員の皆様から、社会資源情報で知りたい内容のリクエスト、そして、わが町の耳よ
りローカル情報があれば クチコミ情報としてお寄せいただくと幸いです。

別紙「県協会からのお願い」にてご協力お願いします。

ポイント2 日本協会 や 国 への意見集約、意見提言。

介護支援専門員協会は、日本介護支援専門員協会・山口県介護支援専門員協会・
地域介護支援専門員協会の3層構造で組織されています。その特徴を活かして、
現場の声を直接日本介護支援専門員協会に届けられる仕組みが備わっています。
会員が日々悩んでいることや、国に提言したいこと等の意見集約し、山口県の介
護支援専門員の職能団体の声として意見提言していくための体制整備を致します。

今回も、別紙「県協会からのお願い」を同封していますので、みなさまのご意見を

FAXにてお寄せください。

山口県介護支援専門員協会できりまとめ、内容を協議検討し皆様の代弁機能が果たせるよう取
り組んでまいります。

ポイント3 緊急時対応・防災対策

昨年度に引き続き、**災害対策机上訓練** を地域協会と協働実施を予定しています。

平成24年8月29日に内閣府（防災担当）より、南海トラフの巨大地震による津波高・浸水域の予測値が発表されています。

山口県内全域、震度5～6。5mの津波を予想されている地域は、山口市、光市、柳井市、周南市、平生町です。

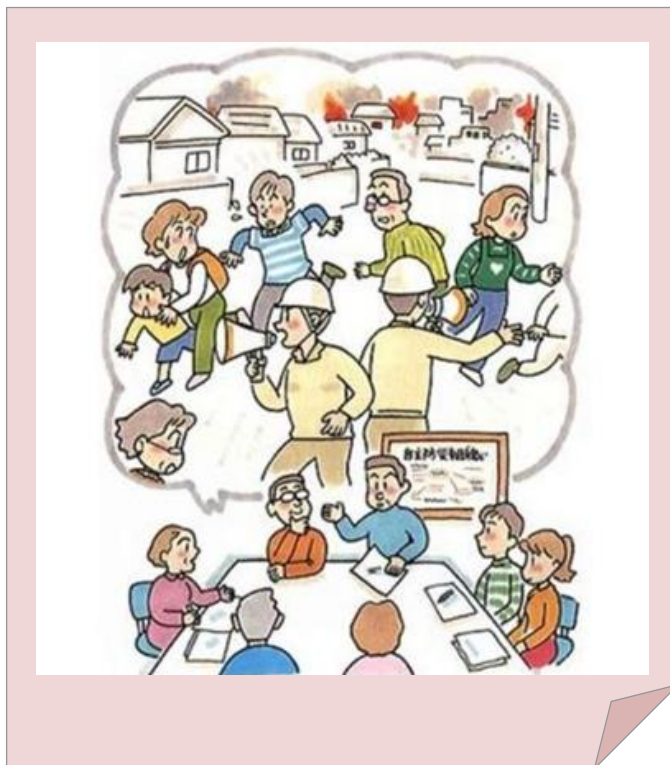
予測できない災害や予測できる台風・洪水など様々な状況が想定されます。

県内、各地域の実情に応じた災害を想定して、災害発生時の初動体制、数日後の対応など、居宅介護支援事業所、行政、施設、介護支援専門員

協会などの役割を決め、グループワーク形式の屋内机上模擬訓練を行います。

被災したとき、自分の立場でできることは何か？ それを考えることで、平素準備しておくことは何か？ を振り返る研修です。

災害が発生した場合に、当協会として柔軟に支援が行えるよう、日本介護支援専門員協会が提供している災害対応マニュアルを活用し、災害対応チェックリスト等を地域で活用できる形に作り替え、不測の事態に備えるご支援が現実のものとなるよう共に検討いたしましょう。



昨年度 この研修に参加された方々のご感想です。

- ・実際にどう動くかを考えることで役割分担の重要性や自分が地域をいかに知らないかにしっかり気づきました。
- ・（災害時の）実際にイメージすることができた。
- ・自分では全く気付かなかったことに気づかされました。
- ・災害時の対応は平常時の確認が大切だと痛感しました。

“習う”のではなく“気づき”を深める研修のようです。

県協会からのおねがい

現場のケアマネとして抱えている 悩み・困りごと・改善してほしいこと・ぐち など、現場感覚でどうにかしてほしいけど自分一人ではどうにもならないこと。

そんな、心に秘めた声を聴かせてください。

県協会が、みなさんのお役にたてる存在となるために頑張ります

あなたは 県協会の会員ですか？ どちらかに○をつけてください

はい ・ いいえ

ご意見をご記入ください。

1. 日本介護支援専門員協会に対して検討してほしいことがあればご記載ください。

2. 当協会のホームページから社会資源情報を入手できるように取り組んでいます。掲載してほしい情報があればお書きください。

逆に、知ってる耳寄りなローカル情報があれば教えてください。

書かれた内容を協議し、県協会としてできる対応策として研修企画に取り入たり、会の代表者が出席する会議で意見を届けたいと思います。

ここに記載された内容は、記載者、登場人物・事業所など個人や法人などが特定されないよう配慮いたします。

山口県介護支援専門員協会

〒754-0893 山口県山口市秋穂二島 1062

FAX (083)987-0124